



平成 19 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社トラスト
代表者名 代表取締役社長 伊藤 誠英
(コード番号 3347 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 横井 大樹郎
(TEL 052-219-9058)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 14 日の決算発表時に公表いたしました、平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,173	630	675	324
今回修正(B)	3,819	289	285	3
増減額(B) - (A)	354	341	390	321
増減率	8.5%	54.1%	57.8%	99.1%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	4,108	606	652	292

2 . 平成 20 年 3 月期個別業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,168	633	742	441
今回修正(B)	3,800	295	379	54
増減額(B) - (A)	368	338	363	495
増減率	8.8%	53.4%	48.9%	
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	4,119	632	722	362

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結

新車輸出好調の影響を受け、当社商品である中古車の輸送船舶のスペースが不足することが予想されるため、売上高につきましては予想を下回る見込みとなりました。

また、仕入価格及び支払地代家賃等の増加により、営業利益及び経常利益につきましてはそれぞれ予想を下回る見込みとなりました。

更に、事業再構築の一環として、連結子会社である AMANA SHIPHOLDING S.A. が所有する船舶の売却による売却損 232 百万円を特別損失に計上したため、当期純利益につきましては予想を下回る見込みとなりました。

(2) 個別

AMANA SHIPHOLDING S.A. の解散により、子会社貸付金に対する貸倒引当金 431 百万円を特別損失に計上したため、当期純利益につきましては予想を下回る見込みとなりました。

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

以 上